

国際社会学部

文化人類学

Cultural Anthropology



どのような学問か

文化人類学（社会人類学）は、様々な社会における人間の生活や活動の在り方を研究の対象とします。人間の社会・文化の多様性を重んじ、生活様式やものの考え方、言語や慣習などを社会全体のコンテキストから探ることを目指す学問です。比較的長期のフィールドワークを主な調査法とし、現地社会において参与観察やインタビューに従事することで現地の人々の経験や視点の深い理解を目指すのが特徴です。

学際的な性格もあり、社会学、言語学、歴史学、政治学、哲学、カルチュラル・スタディーズなどと協働することで、より人間に関する理解を深めることが期待されます。

東京外大の文化人類学

東京外大の文化人類学では、教員はアフリカ・オセアニア・東南アジアと多岐にわたった地域を研究対象とし、政治・経済・親族・宗教という文化人類学の従来からのテーマに加え、エスニシティ・環境・移民・グローバリゼーション・先住民など幅広いトピックをカバーしています。

具体的な諸問題をその地域に根差して深く掘り下げるとともに、理論や他地域の事例との比較検討を通じてのより広い視野での理解を深めることを目的としています。

関連する授業一覧（2023年度）

真島一郎

- 「文化人類学入門」「私たちのアナキズム研究」

山内由理子

- 「『先住民族』から見る」「『先住民族』から考える」

大石高典

- 「民族誌から学ぶアフリカの生活世界 1・2」

日下渉

- 「東南アジア地域基礎」「東南アジア地域研究」

生駒美樹

- 「東南アジア文化人類学」

馬場淳

- 「文化人類学基礎 I・II」

ゼミ

- 真島一郎（グローバルスタディーズ）
- 山内由理子（オセアニア地域研究）
- 大石高典（アフリカ地域研究）
- 日下渉（東南アジア地域研究）
- 生駒美樹（東南アジア地域研究）

関連する学問分野

- 社会学
- 歴史学
- 政治学
- 環境人文学
- 考古学

おススメの本

- 『想像の共同体』（B・アンダーソン）
- 『オリエンタリズム』（E・サイード）
- 『贈与論』（マルセル・モース）
- 『悲しき熱帯』（C・レヴィ=ストロース）
- 『西太平洋の遠洋航海者』（B・マリノフスキー）
- 『無文字社会の歴史』（川田順造）